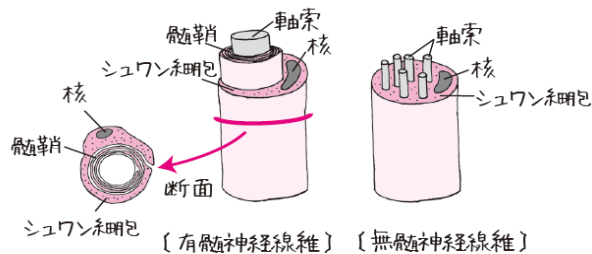


神経系の概要

- 中枢神経系は（ 脳 ）,（ 脊髄 ）からなる。
- 末梢神経系は（ 12 対の脳神経 ）と（ 31 対の脊髄神経 ）からなる。
- 末梢神経系には、（ 体性 ）神経系と（ 自律 ）神経系がある。
- 神経細胞の突起には興奮を細胞体の方に伝える（ 樹状 ）突起と、興奮を次のニューロンや効果器に伝える（ 軸索 ）突起がある。
- 軸索突起は（ 神経線維 ）とも呼ばれる。
- （ 神経膠細胞 ）細胞は、神経組織における支持組織で、中枢神経では、栄養や代謝産物の輸送をする（ 星状膠 ）細胞、髓鞘形成にかかわる（ 奇突起膠 ）細胞、食作用を持つ小膠細胞、脳脊髄液を産生する上皮細胞の4種類がある。
- 末梢神経の神経膠細胞は、（ シュワン ）細胞である。
- 脳や脊髄の神経細胞体の集まっているところが（ 灰白 ）質であり、脳では表面の（ 皮質 ）と内部の（ 大脳基底核 ）等が、脊髄では（ 中心部 ）がそれにあたる。
- 神経線維が通過しているところは（ 白 ）質であり、脳では（ 髓質 ）部、脊髄では逆に（ 皮質 ）部がそれにあたる。
- 脳幹において、神経細胞体と神経線維が複雑に混在しているところを（ 脳幹網様体 ）という。



- 末梢神経において無髓神経は、（ 複数の神経線維 ）が同じシュワン細胞鞘を通る。
- 有髓神経の軸索は（ 髓鞘（ミエリン鞘） ）に覆われており、この部分は電気抵抗が（ 高 ）く絶縁している。
- 有髓神経の髓鞘のない切れめの部分を（ ランビエの絞輪 ）という。
- 神経線維は中枢から末梢に興奮を伝える（ 遠心性 ）線維（運動神経線維）、末梢から中枢に興奮を伝える（ 求心性 ）線維（感覚神経線維）がある。
- 神経節は、脳、脊髄の外で（ 神経細胞体 ）が存在する部位で脊髄後根にある（ 感覚 ）神経節と、（ 自律 ）神経節の2種類がある。

.....

神経線維の分類

■神経線維の伝導速度を文字式分類では速い方から（AからC）の3種類に、数字式分類では感覚神経のみを伝導速度の速い方から（IからIV）の4種類に分類している。

太さ	速さ	文字式分類			数字式分類（感覚神経のみ）			
		髄鞘	種類		種類			
太い ↓ 細い	速い ↓ 遅い	有り	A	α	骨格筋へ、一次終末、 ゴルジ腱器官	I	Ia	筋紡錘一次終末
				β	触・圧覚、二次終末		II	二次終末、
				γ	錘内筋へ	/		
				δ	痛覚、温度覚	III	痛覚（鋭痛）、 温度覚	
				B	自律神経 （節前線維）	/		
	無し	C	痛覚、自律神経 （節後線維）	IV	痛覚（鈍痛）			

- 無髄神経は（ CまたはIV ）線維である。
- A線維はC線維に比べて伝導速度が（ 速い ）。
- I線維はIV線維に比べて伝導速度が（ 速い ）。
- 骨格筋（錘外筋（を支配するのは、（ A α ）神経線維である。
- 痛覚は（ A β またはIII ）と（ CまたはIV ）線維が伝える。
- 筋紡錘の錘内筋を支配するのは、（ A γ ）神経線維である。
- 筋紡錘の一次終末からは（ Ia ）線維が二次終末からは（ II ）線維が出る。
- ゴルジ腱器官からは（ Ib ）線維が出る。
- 交感神経の節後線維は（ CまたはIV ）線維である。

.....